

自己紹介

- 氏名：高村大也 (Hiroya Takamura)
- 所属：産総研人工知能研究センター@お台場
- 研究分野：自然言語処理全般、特に**言語生成**など
- 経歴
 - 東大 計数工学専攻 (計算幾何学のラボ)
 - ウィーン工科大学へ1年留学
 - NAIST博士課程 (松本研)
 - 東工大教員
 - 産総研

元々は、数理的な方法で
言語の研究をやりたかった

NLPの合間をぬってやった"CL"の研究

- Seiichi Inoue, Mamoru Komachi, T Ogiso, Hiroya Takamura, Daichi Mochihashi. "[Infinite SCAN: An Infinite Model of Diachronic Semantic Change](#)". EMNLP, 2022.
- Yoshifumi Kawasaki, Maëlys Salingre, Marzena Karpinska, Hiroya Takamura and Ryo Nagata. "[Revisiting Statistical Laws of Semantic Shift in Romance Cognates](#)". COLING, 2022.
- Taichi Aida, Mamoru Komachi, Toshinobu Ogiso, Hiroya Takamura, and Daichi Mochihashi. "[A Comprehensive Analysis of PMI-based Models for Measuring Semantic Differences](#)". PACLIC35, 2021
- Hiroya Takamura, Ryo Nagata and Yoshifumi Kawasaki. "[Analyzing Semantic Change in Japanese Loanwords](#)". EACL, 2017.
- Hiroya Takamura, Ryo Nagata and Yoshifumi Kawasaki. "[Discriminative Analysis of Linguistic Features for Typological Study](#)". LREC, 2016.

テーマセッションの企画

- NLP2014 「言語探究の手段としての言語処理」
永田、高村、船越、村脇、金丸
- NLP2015 「言語探究のための数理的アプローチ」
高村、村脇、永田

- 具体的な募集テーマ（ただし下記に限りません）
 - 工学的／数理的手法による言語現象のモデル化
 - 大量データに基づく言語学理論の実証
 - 言語処理と周辺技術の言語学への応用
 - 人の言語能力を模倣した言語処理
 - 言語処理の観点から興味深い言語現象の収集と分析

深層学習により単語や文がベクトルで表現でき、 数学の世界で話が進めやすくなった

- 考えられる研究の方向性
 - 意味変化や語形変化の分析、モデルによる予測
 - 語彙や文法などを包括するモデル(Language typologyのモデル)
 - 外界と接続した言語学へ(画像、映像、地理情報など)
- 疑問
 - モデルのアウトプットとどう付き合うか？(raw dataでないものの統計値)
 - 「入出力が同じなら中身も同じか」問題 (from 大谷先生's tutorial)
- コミュニティとして
 - 「川崎さん」がもっと出てくるためには？
 - 誰に聞けばいい？